

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●長浜鴻緒騎手がJRA初勝利をあげる

3月9日(土)の2回中山5日・第2レースではグリントリッターが1着となり、同馬に騎乗した長浜鴻緒騎手(美浦・根本康広厩舎)は、JRA初勝利(4戦目)をあげました。

●石神深一騎手がJRA通算200勝を達成

3月10日(日)の2回中山6日・第4レースではプリエヴェールが1着となり、同馬に騎乗した石神深一騎手(美浦・フリー)は、現役58人目となるJRA通算200勝(3868戦目)を達成しました。

●武士沢友治騎手が引退

武士沢友治騎手(美浦・小手川準厩舎/JRA通算1万1624戦340勝)が3月10日(日)付で引退しました。今後はJRA競馬学校で教官となる予定です。

●重賞ウイナー5頭の競走馬登録抹消

2022年みやこS(GⅢ)などの勝ち馬サンライズホープ(牡7歳/栗東・浜田多実雄厩舎/JRA通算28戦7勝・地方2戦0勝)、2023年佐賀記念(佐賀・JpnⅢ)などの勝ち馬バーデンヴァイラー(牡6歳/栗東・斉藤崇史厩舎/JRA通算13戦5勝・地方5戦2勝)、2023年マーメイドS(GⅢ)の勝ち馬ビッグリボン(牝6歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算12戦5勝)、2022年小倉記念(GⅢ)の勝ち馬マリアエレナ(牝6歳/栗東・吉田直弘厩舎/JRA通算23戦5勝)、2021年・2022年ターコイズS(GⅢ)の勝ち馬ミスニューヨーク(牝7歳/栗東・杉山晴紀厩舎/JRA通算28戦6勝)は、2月9日(金)までに競走馬登録を抹消されました。サンライズホープは地方・園田競馬、バーデンヴァイラーは地方・川崎競馬に移籍し、ビッグリボンは北海道日高町の下河辺牧場、マリアエレナは北海道日高町の日大洋牧場、ミスニューヨークは北海道浦河町の高昭牧場で繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●愛知の木之前葵騎手がレディスジョッキーズシリーズに優勝

11月21日の盛岡、3月8日の笠松で各2戦、計4戦のポイントの合計で争われたレディスジョッキーズシリーズ2023は、4、1、3、1着という成績で木之前葵騎手(愛知)が総合優勝を果たしました。

●土佐春花賞は無敗のシンメデージー【各地の主要3歳重賞】

土佐春花賞(3月10日、高知、1300m)は、2番手から一旦3番手に後退したシンメデージー(牡、父コパノリッキー)が直線最内を突いて抜け出し、単勝元返しの圧倒的支持に応じてデビュー以来の連勝を5に伸ばしました。新設重賞のジュニアグローリー(3月7日、笠松、1400m)は、2番人気の北海道から愛知への移籍馬スティールアクター(牡、父モーニン)が3番手追走から3、4コーナー中間で先頭に立って4馬身差で圧勝、重賞2連勝を果たしています。

●牝馬アンモシエラらが参戦、3月20日の京浜盃(大井)

今年から新たにダートグレード競走となった京浜盃(JpnⅡ、3歳、3月20日、大井、1700m)は、ブルーバードCからの重賞連勝を狙うアンモシエラが中心、以下ハビレ、シークレットキー、サントノーレ(大井)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ニューマーケットH～シリンダーがG1初制覇

現地3月9日にオーストラリア・ヴィクトリア州のプレミントン競馬場で行われたG1ニューマーケットH(3歳上、芝1200m)は、J.カー騎手を背に51.5%で出走したシリンダー(牡3歳、父エクシードアンドエクセル、J.カミングス厩舎)が優勝。G1・4連勝中で1番人気に推された牝馬インペラトリズは58%のトップハンデで1.25馬身差の2着でした。勝ったシリンダーは2歳時のG2シルバースリッパース(芝1100m)で重賞初制覇を果たし、G1ゴールデンスリッパースは2着。今シーズンはG3ヴェインS(芝1100m)、G2ラントゥザローズ(芝1200m)と重賞連勝でスタートしましたが、その後は前走のG1ライトニングS6着まで4連敗となっていました。

●G1クイーンズシルバージュビリーC～

カリフォルニアスパンゲルが優勝

3月10日に香港のシャティン競馬場で行われたG1クイーンズシルバージュビリーC(3歳上、芝1400m)はB.アヴェデュラ騎手が手綱を取ったカリフォルニアスパンゲル(騾6歳、父スターズパンゲルドバナナ、A.クルーズ厩舎)が逃げ切り勝ち。昨年香港スプリントを含むG1・4勝のラッキースワイネスは5着でした。カリフォルニアスパンゲルは一昨年のG1香港マイル(芝1600m)の勝ち馬。近走は昨年の香港マイル13着を含め4連敗を喫していましたが巻き返しました。